

淀川河川公園 御幸橋野草地区（仮称） 公園整備計画

平成 29 年 11 月

近畿地方整備局 淀川河川事務所

■御幸橋野草地区（仮称）の現況

年間利用者数と主な公園施設	
年間利用者	主な公園施設
未供用区域のためデータはない	未供用区域のため施設は存在しない

各視点からの現況			
ゾーニング計画の実現	魅力	快適性	つながりの改善
・対象区域の大部分が「水辺環境保全・再生ゾーン」になっている	・対岸に背割堤地区があり、桜並木を見渡すことができる ・背割堤地区に淀川三川合流域さくらであい館が整備されている	・木津川を眼下に臨む広大な空間である	・木津川を挟んで背割堤地区と対面し、両地区の間に水深の浅い木津川がある ・上下流方向には隣接する公園区域は存在しない



平成 27 年 1 月撮影

■御幸橋野草地区（仮称）の整備方針（案）

淀川河川公園基本計画に基づき、地区及び周辺地域の特性を踏まえ、御幸橋野草地区（仮称）の整備方針を以下のように設定します。

淀川河川公園の整備方針（基本計画）

（1）ゾーニング計画を新たに定める

- 基本計画における地区区分計画を改め、淀川の自然環境が縦断及び横断方向に連続するようなゾーニング計画を新たに定める

（2）淀川の自然環境の保全・再生を図る

- 自然環境の連続性に留意しながら、自然環境のネットワーク及び淀川の特徴ある水辺の景観を保全・再生する
- 干潟や砂州、ヨシ原、ワンド、たまり等の水陸移行帯や淀川固有の生物が生息・生育できる場を保全・再生する

（3）淀川らしい利用ができるようにする

①淀川の自然環境と利用との調和を図る

社会動向の変化、周辺の都市の状況、地域住民・利用者のニーズや意見を踏まえ、地区ごとの特性を考慮しながら淀川の自然環境と利用との調和を図る

②淀川の自然環境の中で水に親しみ、憩う場をつくる

地区ごとの特性を活かし、水辺での水遊びや自然観察、原っぱでの遊びや運動、休憩、散歩など様々な形で淀川の自然環境の中で水に親しみ、憩う場をつくる

③淀川全体をつなぐ・まちと淀川をつなぐ

散策やジョギング、サイクリングなどが行えるよう、淀川全体をつなぐとともに、周辺地域と淀川にまつわる歴史・文化資源の散策・周遊等のルート設定や、広域避難地としての役割など、まちと淀川をつなぐ取り組みを行う

④淀川の水辺の景観を楽しめる場をつくる

水辺越しに見える都心部の眺望景観、北摂連山や天王山、男山、生駒山地などの山なみと一体的な景観との調和を図り、水辺の景観を楽しめる場をつくる

（4）淀川にまつわる歴史・文化資源を活かす

- 渡しや舟運、旧毛馬閘門・洗堰や川港跡、樋跡、三川合流部などの保存や展示、言い伝えを後世に伝えるなど、淀川にまつわる歴史・文化の資源を活かす

御幸橋野草地区（仮称）の特性

- 淀川河川公園の左岸側の最上流部に位置し、左右岸が接近した地峡を形成している
- 背割堤地区の対岸に位置し、背割堤の桜並木や天王山の雄大な景観が楽しめる
- 下流側では木津川、宇治川、桂川の三川の合流地点を間近に見ることができる
- 背割堤地区との間の木津川は、水深が浅く流れも緩やかなために利用しやすく、かつては御幸橋付近に水泳場が存在し、地元や周辺地域の人々の利用が盛んであった
- 背割堤地区に地域振興の拠点施設「淀川三川合流域さくらであい館」が整備されている

御幸橋野草地区（仮称）の整備方針

◇木津川と対岸の景観を楽しめる川辺の散策ルートを整備します

- 木津川に沿って、河川の水面と対岸の景観を眺め、散策やジョギングをしながら周遊できるルートを整備します。

◇天王山の景観や三川合流部の風景を楽しめる場を設置します

- 対岸の天王山や背割堤の桜並木を見渡したり、木津川、宇治川、桂川の三川が合流する箇所にビューポイントを整備します。
- 対岸の景観などを解説する案内板を設置し、利用者を周遊観光に誘うための環境整備を行います。

◇自然とのふれ合い活動を快適に行えるよう、広場や駐車場を整備します

- 御幸橋野草地区の利用を促進するため、水辺の利用などが想定される場所付近に広場や駐車場を整備します。

◇木津川の親水・利用がしやすくなるようにします

- 木津川水辺に親しめるよう、側の砂州に降りられるようなアプローチルートを確認します。

■御幸橋野草地区（仮称）の整備・維持管理計画（案）

1. 踏み分け道を活用した木津川に面した周遊ルート整備 (魅力の向上)

- ・現状の踏み分け道を歩きやすく整備し、木津川に沿ってウォーキング、ジョギング等により周遊できるルートを整備する

2. 観光スポットとして利用可能なビューポイントの整備 (魅力の向上)

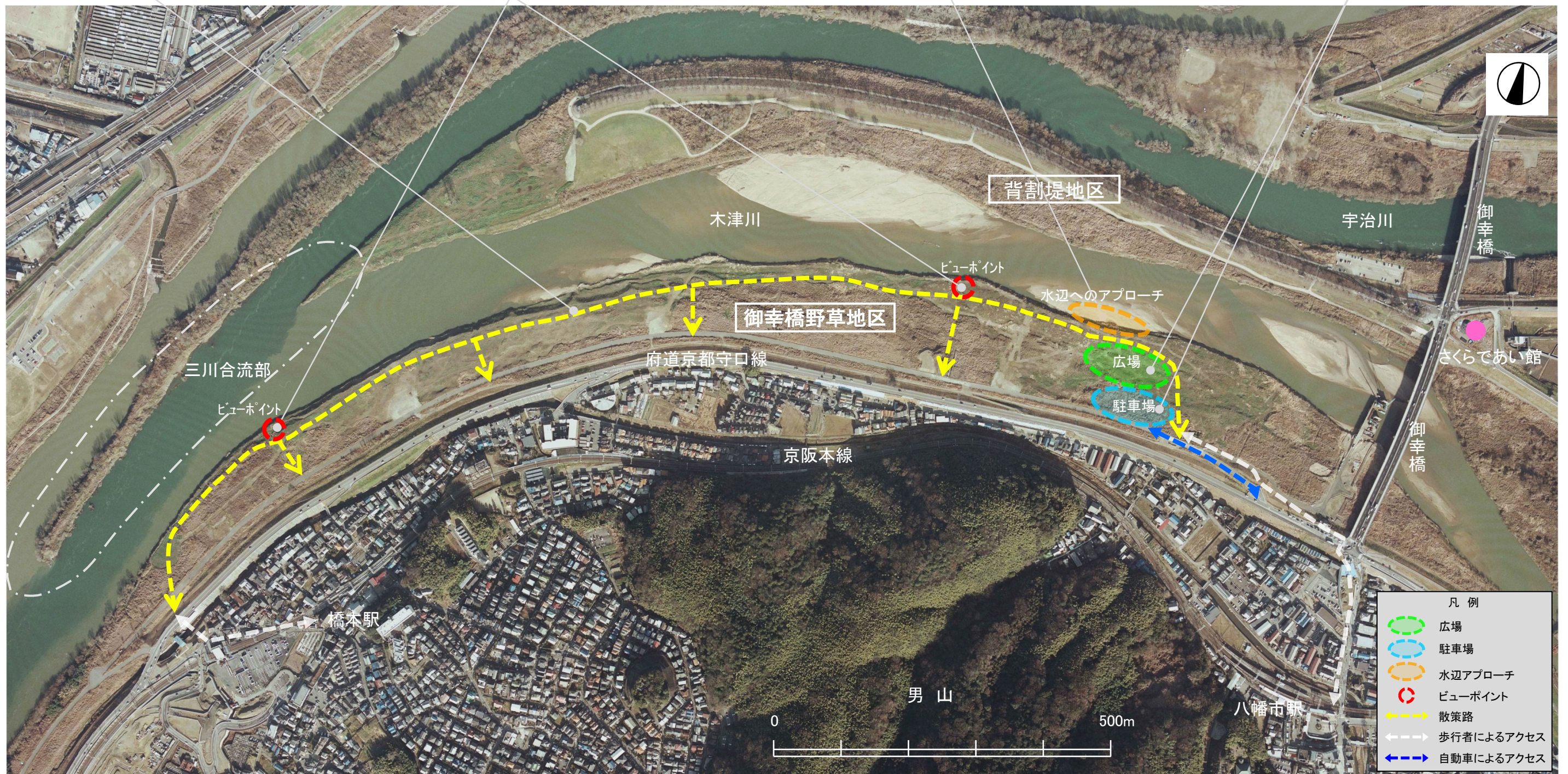
- ・周遊園路沿いにビューポイントを設け、ベンチや景観を解説するサインを設置する。
- ・サインには、三川合流部や対岸の天王山の景観を楽しめ、対岸への周遊にいざなうような情報を盛り込む

3. 木津川の水面にアプローチできる場の確保 (魅力の向上)

- ・かつての木津川水泳場の付近に、カヌーやSUP（スタンダードアップパドルボード）、歩いて水辺に近づく等の利用を想定し、左岸側から水際部の砂洲に降りられるアプローチルートを確認する。なお、アプローチルートは砂洲の状況より整備箇所を検討する

4. 御幸橋野草地区の利用のための施設整備 (快適性の向上)

- ・木津川の水面利用や自然観察のバックヤードとして利用できる広場を整備する
- ・たくさんの方に自然に親しんでもらえるよう公園利用の利便性を確保するための駐車場を整備する



平成 27 年 1 月撮影

■御幸橋野草地区（仮称）整備・維持管理項目（案）

	現状及び課題	今後の整備・維持管理の方向性	整備項目
1	・御幸橋から下流側には、木津川を眺めながら歩けるルートは堤防道路しかないが、堤防上に歩道がないため、景色の良い安全な歩行ルートがない	・木津川を眺め、ウォーキングやジョギングに適した周遊ルートを確認する 【魅力の向上】	■踏み分け道を活用した木津川に面した周遊ルートの整備 ・現状の踏み分け道を歩きやすく整備し、木津川に沿って散策、ウォーキング、ジョギングにより周遊できるルートを整備する
2	・淀川河川公園の中で唯一、天王山が間近に迫る対岸の景色や、三川合流部を観察できる観光資源を有した地区であるが、現在は適切な立ち寄り場がない	・周遊ルートの途中に木津川の水面や対岸の背割堤の桜並木や天王山の景観、淀川三川が合流している景観をゆっくり楽しめる場を設ける 【魅力の向上】	■観光スポットとして利用可能なビューポイントの整備 ・周遊園路沿いにビューポイントを設け、ベンチや景観を解説するサインを設置する。 ・サインには、三川合流部や対岸の天王山の景観を楽しめ、見た人を周遊にいざなうような情報を盛り込む
3	・木津川や宇治川ではカヌー等による親水利用が見られるが、三川合流域周辺で木津川左岸側の砂州に安全に降りられる場所がない	・かつて木津川水泳場が存在した付近に、木津川の水辺に親しめる環境整備を行い、自己責任による水辺利用やイベントへの活用を図る 【魅力の向上】	■木津川の水面にアプローチできる場の確保 ・かつての木津川水泳場の付近に、歩いて水辺に近づいたり、カヌーや SUP（スタンドアップパドルボード）等の利用を想定し、左岸側から水際部の砂州に降りられるアプローチルートを確認する。なお、アプローチルートは砂洲の状況より整備箇所を検討する
4	・八幡市の市街地から最も近い木津側河川敷であるが、現状はほとんど利用されていない	・御幸橋野草地区の利用を促進するために必要な最低限の施設を設ける 【快適性の向上】	■御幸橋野草地区の利用のための施設整備 ・木津川の水面利用や自然観察のバックヤードとして利用できる広場を整備する ・たくさんの方に自然に親んでもらえるよう公園利用の利便性を確保するための駐車場を整備する

注) 今後の地域協議会での議論、治水・環境の観点からの技術的検討、予算状況等により変更となる場合があります。